



大河ドラマ『いだてん』主人公 金栗四三青春の地・文京区 プロジェクト発表会

1/23
 直撃取材



大勢のお客さんがつめかけました!



玉名市の蔵原(くらはら)市長のごあいさつ
 ©2010熊本県 くまモン 協力 銀座熊本館 取材協力:熊本県・玉名(たまな)市
 (左から 熊本県しあわせ部長・くまモン、玉名市マスコット・タマにゃん、蔵原(くらはら)玉名市長)

オリンピック・パラリンピック こども新聞

第6号
 平成31年(2019)
 3/31

2面
 スポーツを広げた
 金栗四三

3面
 こども新聞
 活動報告

かたまち4・3 km
 1月から始まった大河ドラマ『いだてん』のトークセッションを取材しました。私がすごいと思ったのは、金栗四三(かなぐりし)さんがかたまち4・3 kmの道をいつも走って通学していた事です。おうちまで8・6 kmです。8・6 kmといえは、私にとっては歩くのさ大変なきよりです。そんな道を毎日走るなんておどろきです。
 トークセッションに来ていた谷口浩美さんは「マラソンはにげられないスポーツだ」と話していました。また、谷口さんにとってマラソンはなにか?という質問に「たわいもない事をずっと続けるのもマラソンだと思えます」と言っていました。金栗四三さんも冷水浴という日課があった(宝駐天(いたてん))
 足のはやい人。たいそう足がはやい。
 (小4/NM記者)

山下りのスペシャリストも愛用『ハリマヤシューズ』!
谷口さんとマラソン
 谷口浩美さんに「ちひろみさんが、オリンピックのこどもをたさん話してくれました。谷口さんはハルセロナオリンピック(アトランタオリンピック)に出場し、バウルセロナオリンピックでは、8位に入賞しました。また、はこね(伝)は3年間6区を走り、山下りのスペシャリストと呼ばれました。
 谷口さんは駅伝のころを振り返り、僕が走った次の年からテレビ放送が始まったんですよ...と会場をわかせました。また、昔は駅伝のスタートが寒かったとあって、体を温める工夫をしたとも話を聞きました。
 谷口さんが愛用したハリマヤ製シューズ
 ハルセロナオリンピックの名言「けいちゃった!」については、国民は知らない」と思っていたこと、「オリンピックの選手村の料理はバイキングなので食すきでした。アリンピックは何のためにあるか?という質問については「力(ちから)を出す」と価値がある」ということも聞いていました。
 2020年には東京で「力(ちから)が見られる」と思うことも楽しみにしています。
 (小6/YO記者)



現在開催中のスタンプラリー「金栗四三青春の地マップ」

関係する施設がたくさんあるそうです。この新聞を読んでいる人たちは、ぜひ玉名市に行ってみてほしいです。イベントではわからないような魅力があると思います。また文京区のスタンプラリーや町歩きなどに参加してみてください。
 (小4/YT記者)

走って登校した道
 1月28日に「金栗四三青春の地・文京区プロジェクト発表会」が、文京区シビックセンター1地下2階区民ひろばで行われました。金栗さんが走っておどろく登校した道をしようかいします。
 ルートの説明をします。東京高等師範(しほ)学校のあった占春園(せんしゅんえん)付近から、お茶の水の寄宿舍があった湯島聖堂(ゆしませいどう)付近までが金栗さんの通学路といわれていたルートです。金栗さんは、みんなが寄宿舍を出た20分後に出たのに、みんなにおいつき、さらにみんなをぬかしていきなすです。
 このルート(金栗四三通学路)コースの他に、坂道健脚(けんきゃく)コース、ゆったり健脚コース(走るわけではありませぬ)など、金栗さんゆかりのある場所をめぐるコースもあるの、みなさんもぜひ体験してみてください。はいかがでしょうか。
 (小5/MO記者)



谷口さんをはさんと成澤(なりさわ)文京区長(左)と蔵原(くらはら)玉名市長(右)